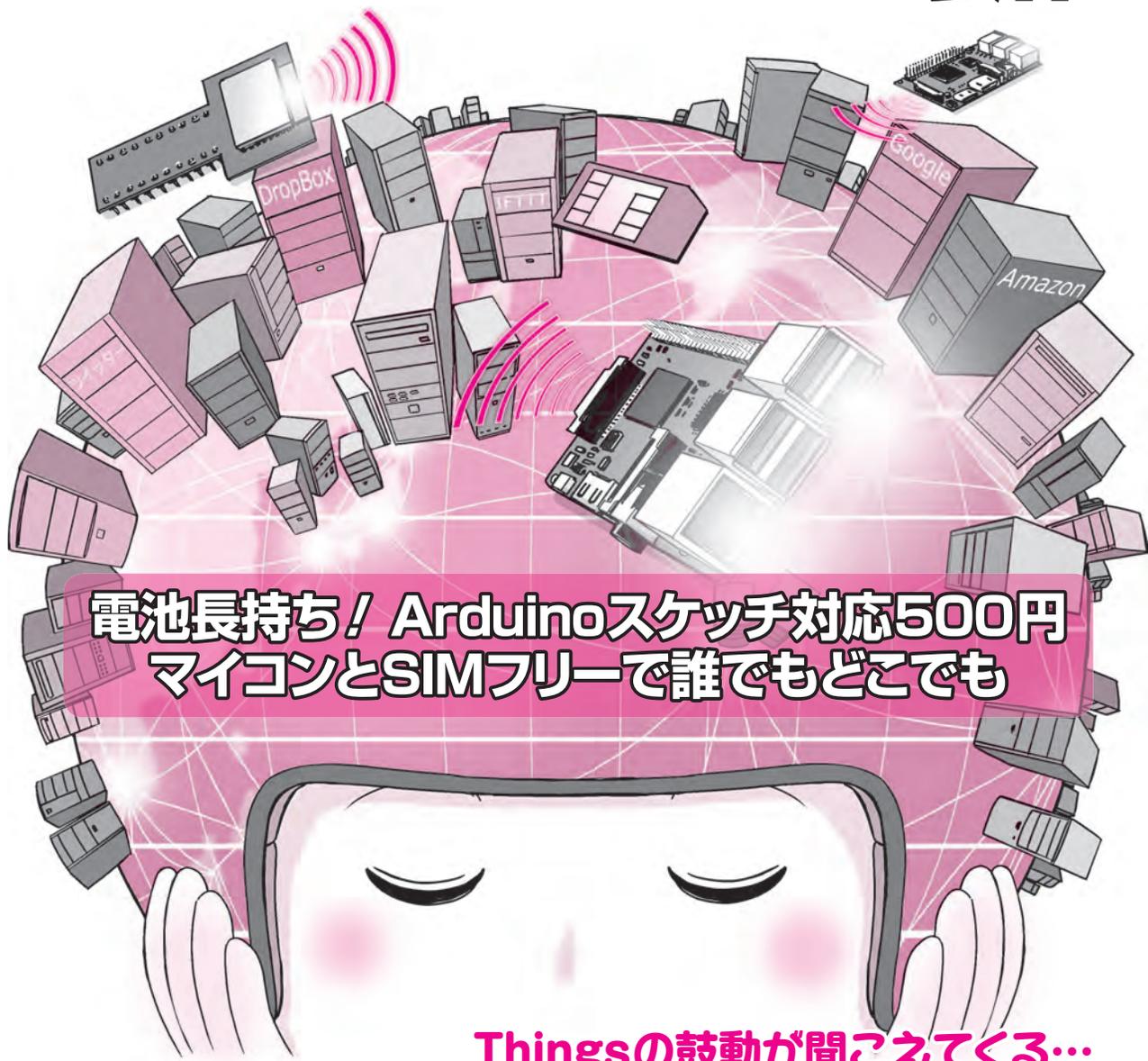


特集

時計 / 照明 / 体重計...地球上は全部つながる

Web脳接続！ Wi-Fi×3G/LTEでIoT製作



電池長持ち！ Arduinoスケッチ対応500円
マイコンとSIMフリーで誰でもどこでも

Thingsの鼓動が聞こえてくる...

まるでSF映画!

イントロダクション

あれこれ考えてる間に…地球上のすべては
電脳を搭載し話し始めているだろう

二つ目のインターネット “IoT (Internet of Things)” 誕生

大中 邦彦 Kunihiko Ohnaka

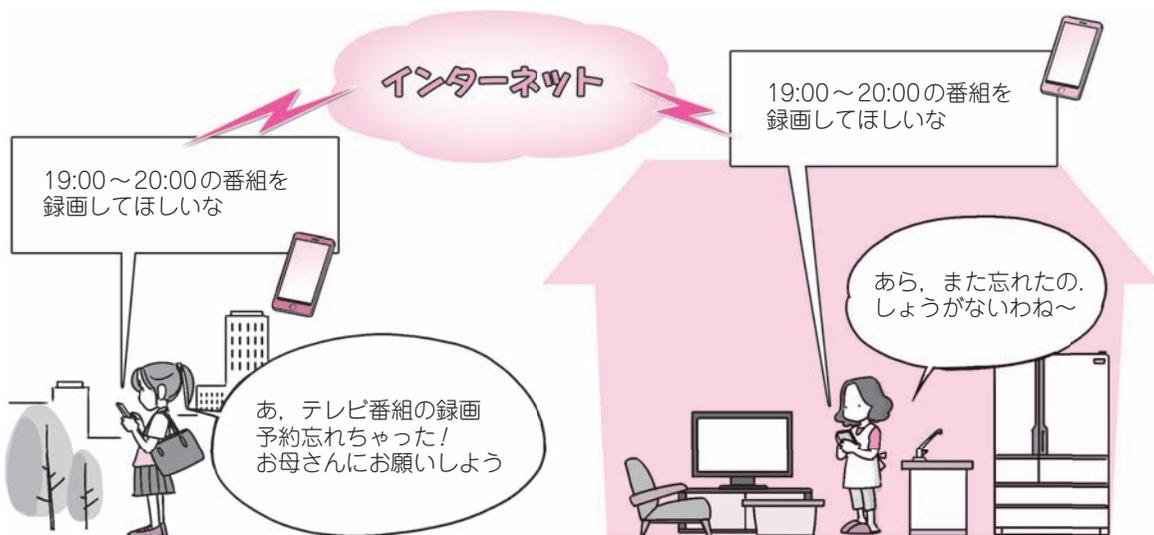


図1 今やみんながスマホを持っているので、離れたところにおいても簡単にコミュニケーションをとることができる

モノがネットを駆け巡る? IoT(アイ・オー・ティ)ってなんだろう

● モノがインターネットにつながる?

経済誌やセミナーのタイトルで「IoT(アイ・オー・ティ)」という単語を見かけることが多くなってきました。「なんとなく気になってたんだよね」という方も多いのではないでしょうか?

IoTという言葉は「Internet of Things」を短くしたもので、日本語では「モノ(物)のインターネット」と呼ばれています。モノのインターネットと聞いてもピンとこないと思いますが、「ヒト(人)のインターネット(Internet of Human)」という言葉を考えてみると少し理解しやすくなるかもしれません。

私たちはLINEなどのメッセージング・アプリでおしゃべりしたり、ネットショッピングしたりと、何かしらの形で毎日インターネットを使っています。

図1はメッセージング・アプリで自宅にいる家族と会話をしているようすです。テレビ番組の録画予約を

忘れてしまった娘さんが、家にいるお母さんにテレビ・レコーダの操作をお願いしています。逆に図2では、買い物に出かけたお母さんが、冷蔵庫の中にどんな食材が残っていたかを娘さんに聞いています。どちらも日常的に見かける光景です。

ほとんどの人がスマートフォンを持ち歩くようになり、「すべてのヒトがインターネットに接続されている」といえる状況が生まれ、相手がどこにいるかを気にせずすぐに連絡できるようになりました。このように、人々をつないで生活を豊かにすることができるインターネットは「ヒトのインターネット」、つまり「Internet of Human」と言えそうです。

● すべてのヒトがインターネットにつながったように、すべてのモノがインターネットにつながる時代がやってくる!

図1や図2のように場所に縛られずにいろいろなことができるのはとても便利ですが、家にだれもいない場合はこの恩恵を受けることができません。



図2 お母さんだってスマホを持っているから、外出先からでも娘さんと連絡できる

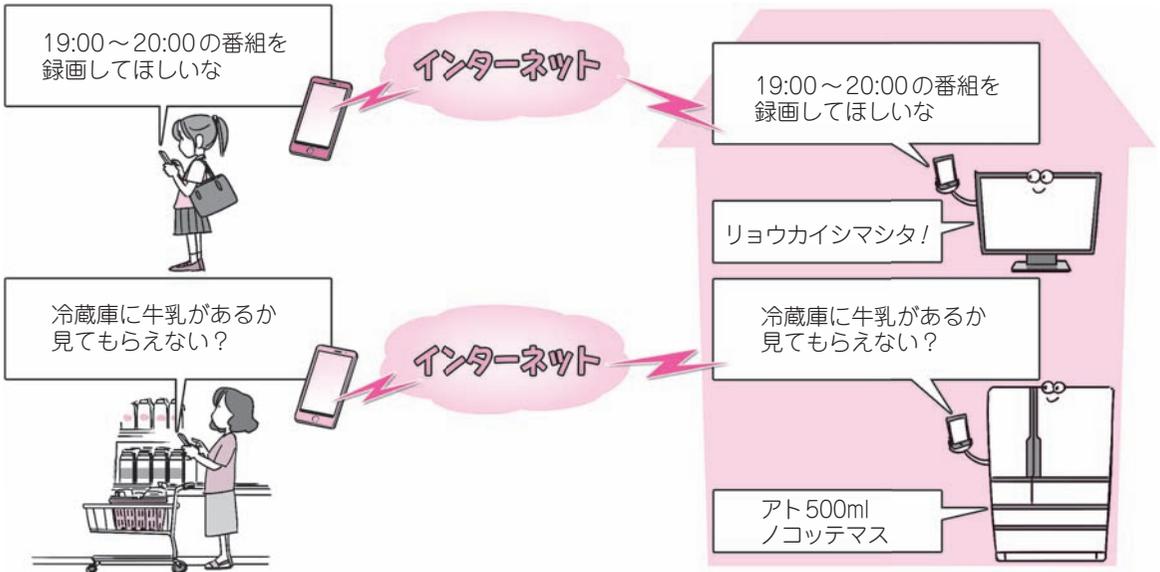


図3 もしテレビや冷蔵庫がスマホを持っていたら、家にだれもいなくても外出先から操作できる

図3のようにテレビ・レコーダや冷蔵庫がスマホを持っていて、送られたメッセージの指示に従って録画予約をしたり、冷蔵庫の中を教えてくださいたらどうでしょう。そうなっていたらわざわざ家の人にお知らせする必要もないですし、自宅にだれもいなくても対応できます。

そう考えていくと、身の回りにあるあらゆるものがインターネットに接続されていると便利だと思いませんか？ 家の鍵を閉めたかどうかを外出先から確認できたり、財布を落としても財布の所在地がすぐにわかったりと、想像は無限に広がります。

スマートフォンによって世界中の人々がいつでもど

こでもインターネットに接続されるようになって、世界は大きく変わりました。同じように世界中のありとあらゆるモノがインターネットに接続されるようになると、世界がガラッと変わる可能性があります。そんな世界のことをIoTと呼んで、たくさんの人たちが注目しているのです。

IoTの世界をモノの気持ちになって考えてみよう

- モノがインターネット経由で脳脳とつながる
ちょっと視点を変えて、モノの気持ちになってIoTの世界を見てみましょう。